

校長室だより 第十三号



日々旅にして・・・ついでに

月日は百代の過客にして、行き交ふ年もまた旅人なり。  
船の上に生涯を浮かべ、馬の口とらへて老いを迎ふる者は、  
日々旅にして旅を栖(すみか)とす。

有名な松尾芭蕉の「奥の細道」の冒頭です。その意味は、  
「月日は永遠に終わることのない旅をする旅人のようなものであ  
って、去ってはまたやって来る年もまた旅人のようなものであ  
る。船頭として船の上で生涯を過ごす人や、馬子として馬のくつ  
わを引いて老いるのを待ち受ける人は、毎日が旅であって旅を住  
処としているのだ。」です。

七月に入ってからというものの、この文章が何度も頭に浮かんで  
きました。コロナウイルスの影響で、どこにも旅行をすることが  
できないので、あまり楽しみがないなあと感じている人も少なく  
ないのではないでしょうか。芭蕉が言うように、日々の生活を旅  
だと思って過ごすことができたいのですが……。しかし、そ  
んな芭蕉だって、このあと、いてもたってもいられなくなり東北

地方へ旅に出してしまうわけですから、やはり日常を離れるとい  
うことは、誰にとってもあこがれのことなのでしょう。

さて、この一学期は、登校した日数が普段より二十日ほど少な  
くなりました。学校では、エアコンが効き、快適に過ごせたこと  
と思います。音楽や体育、家庭科などの授業では、できない内容  
があったり、話し合い学習での制限があったりしましたが、みん  
なの授業態度は、大変立派でした。本当によくがんばりました。  
夏休みは短くなりましたが、夏休みの宿題は出されています。  
その多くは、自主的に取り組む形になっていると思います。ぜひ、  
楽しそうだな、おもしろそうだなと思うものに取り組んでみる。  
あるいは、そうでなくても、やると決めたことを、おもしろがっ  
てやるように心掛けてみてください。もちろん「ときわマスター」  
に向けての腕を磨いておくのもいいですね。

今年も学年園での野菜がよく成長したよ。キュウリ、トマト、  
ピーマン、ジャガイモ・・・夏休みも、野菜を食べて元気に過ごそう。



☆保護者の皆様へ

コロナ禍の一学期でしたが、保護者の皆様のご理解とご協力に、  
心より感謝申し上げます。今後も、よろしくお願いいたします。  
ご家族の皆様におかれましても、健康にご留意ください。

文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理  
マニュアル」(学校の新しい生活様式) (2020.6.16 Ver.2) より  
(p14) ①発熱等の風邪の症状がある場合等には登校しないことの徹底  
発熱等の風邪の症状がある場合には、児童生徒等も教職員も、自宅で  
休養することを徹底します。(レベル3及びレベル2の地域では、同居  
の家族に風邪症状が見られる場合も同様とします。)